

1.8 文化的価値の保存(留意事項)

1.8.1 構造計画

構造体は、地中埋設部を含めできる限り現況を改変せずに耐震安全性を確保する。

塔屋等の耐震改修は、できる限り屋内側に補強材等を設置し、やむを得ず屋外に設置する場合は、外観に影響の少ない形状寸法、色彩等の補強材等を用いて景観に配慮する。その時、補強材等は、既存部分と区別できる外観とし、将来再度の改修が必要になった際に取り外すことができる構造とする。

1.8.2 非構造部材の各部計画

非構造部材において、高層棟外周バルコニー手摺、高層棟ロビー天井木製ルーバー、低層棟ピロティ天井木製ルーバー、高層棟ロビー陶板壁画、床の玉石仕上げ等は、出来る限り保存した上で安全性を確保する必要がある。

(1) 高層棟各階バルコニー手摺

新設する手摺は、既存手摺と同形状とし、建物の既存材料と違和感のない材料・仕上げとする。

取り外した既存手摺は、手摺支柱含む1スパン以上を自立するように加工し、香川県庁内の指定する場所に保管する。

(2) 天井木製ルーバー

低層棟の天井ルーバーは既存のルーバーと同形状、同樹種・同等品(国産材)とする。

既存木製ルーバーと下地材とを繋結するボルト等の見えがかり部は、できる限り当初と同じ形状とし、形状を改変する場合は、改変ができる限り目立たないものとし、現地に模型等を仮設置して検討する。

(3) 高層棟ロビー陶板壁画

文化財的価値が高く、陶板取り外しによる調査が不可能なため、現状の取り付け方法が確認できていない。従って、以下の通りに改修方法を仮設定する。

陶板壁画の浮き・割れ・欠損がみとめられるが、陶板は文化財的価値が高いため、取り外さずに、現状位置のまま保存し、タイル浮き部分については、目地よりエポキシ樹脂注入により落下防止対策を施す。注入後の注入孔跡は既存目地と色合わせをしたモルタルにて埋めるものとする。

また、タイル欠け部分については、エポキシ樹脂モルタル充填工法、割れ部分についてはパテ状エポキシ樹脂すり込みとする。

(4) 低層棟ピロティ床仕上げ等

低層棟ピロティ・高層棟犬走りの玉石仕上げは、大部分が東館建設時のまま良好な状態で保存されているため、可能な限り、目地を含めて現状のまま保存する(最低限F通り上、3'・4'通り間、5'・6'通り間)。玉石を取り外す場合は、土間・目地共現状のまま保存する部分を明示するものとする。また、玉石仕上げ部分のエキスパンションジョイントカバーは、既存玉石を再利用した仕上げとし、可動部分の金属部材を最小限とし、目立たない設計とする。

ピロティに置かれた館銘板・灯籠・テーブル・自転車置場の石積等の諸工作物を取り外す場合は、事前調査の上、位置・向き・高さを現状通りに復旧する。

(5) 高層棟外部建具、堅樋

高層棟外部建具及び堅樋のカバーの塗装改修は、当初の色を確認して当初と同色とする。

ただし、当初の色が確認できない場合は、当初の設計趣旨等に従って当初の色と推定される色とする。

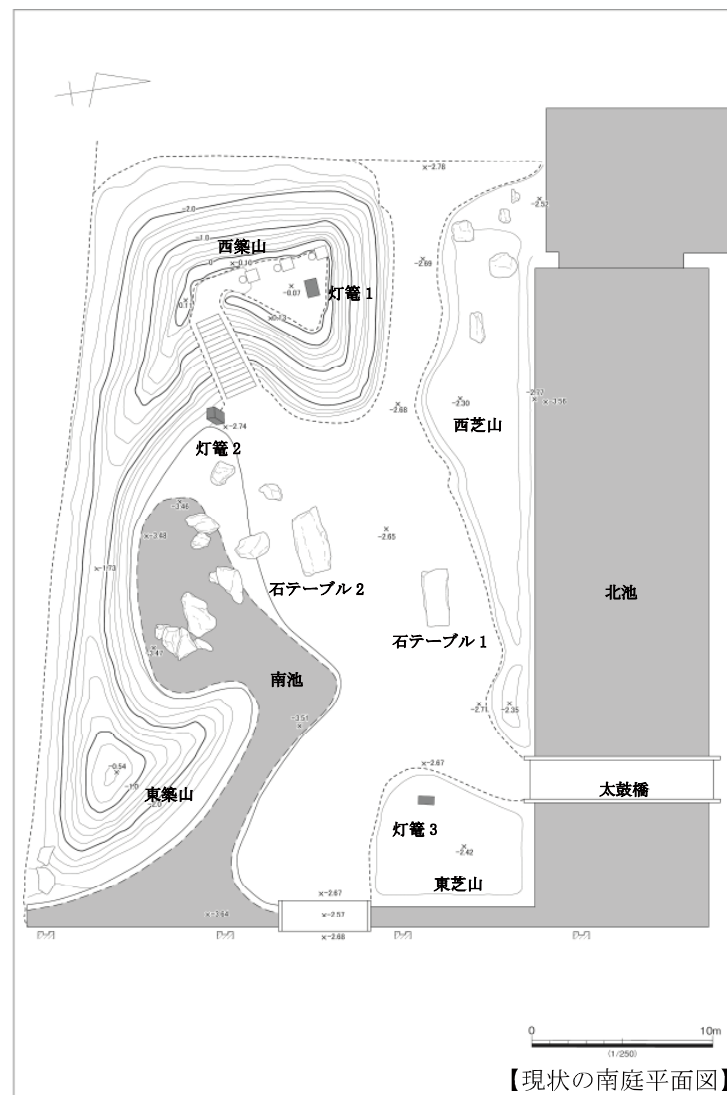


(6) 南庭

南庭は、平成9年の本館建設時に作業場等として利用したため、東館建設時に整備された庭が全撤去され、規模を縮小して復旧されている。今回の改修にあたり、作業場等に利用するため一時全撤去する必要があるため、工事の後全復旧する。現状への復旧を基本とするが、各部の形状・納まり等は当初の設計趣旨を尊重して設計する。

現状の形状・納まりを変更する部分は、下記のとおりとする。

- ・西側築山について、頂上の平面形状は台形状とし、立面形状は斜面をむくり状にする。(頂上の標高は現状のまま)【写真①②イメージ】
- ・東側築山の裾部形状について、池と築山の境界部分は水面から上に石1個分ほどが見えるようにする。また、犬走り状の平坦地盤面を廃止し、築山と縁石部分が連続する形状とする。【図①イメージ】
- ・芝山について、石張り部分との境界を本館建設前のような円弧状のなだらかなカーブとし、芝山の高さは本館建設前のように低くする。【図②イメージ】
- ・石テーブル1の据え付け高さについて、浮遊感を持たせるように現状より高く据え付ける。【図③イメージ】
- ・灯籠3の据え付け高さについて、本館建設前のように足元の窓部分が地上に現れるように高く据え付ける。【図④イメージ】
- ・免震ピットの構築に伴い、建物周囲の取り合い部については、必要な形状の変更を行う。



【写真① 全撤去前の西築山の形状 (香川県所蔵)】



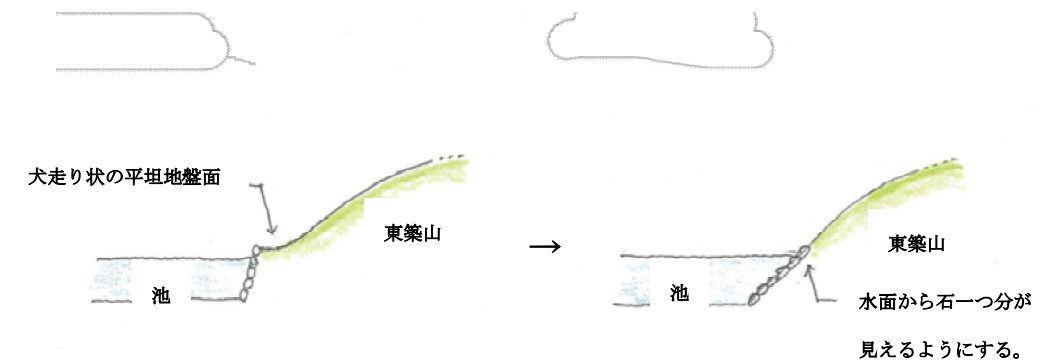
【写真② 全撤去前の西築山の形状 (香川県所蔵)】

1.8.3 電気設備計画・機械設備計画

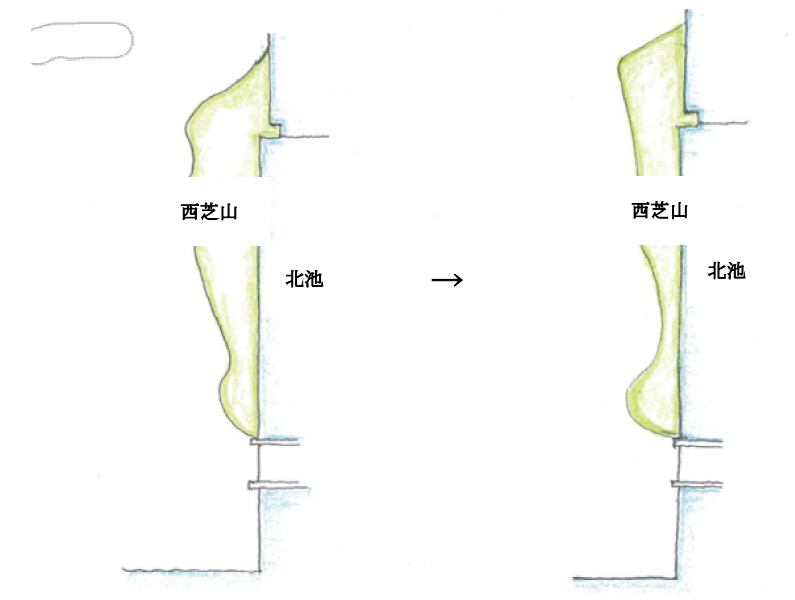
- ・低層棟ピロティの縦配管：改修前の印象をできる限り変えない管の配置、色彩等によるものとする。
- ・古い衛生陶器等の保存（保管）：香川県庁内の指定する場所に保管する。
- ・低層棟ピロティ天井（木製ルーバー天井部分を除く）の露出配管：既存の配管を撤去し、撤去跡は補修する。

1.8.4 工事等の記録

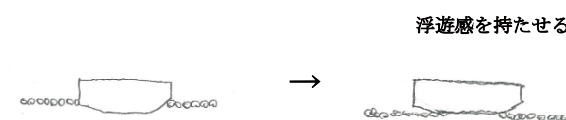
- ・設計、工事にあたり、課題の検討、施工の実施について課程、結果等を記録する。



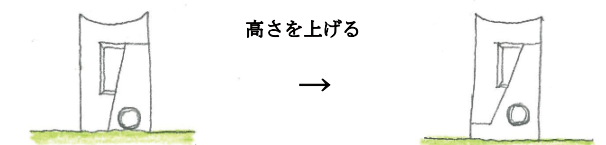
【図① 東築山裾部形状 (断面)】



【図② 西芝山形状 (平面)】



【図③ 石テーブル1の据付高さ (断面)】



【図④ 灯籠3の据付高さ (立面)】